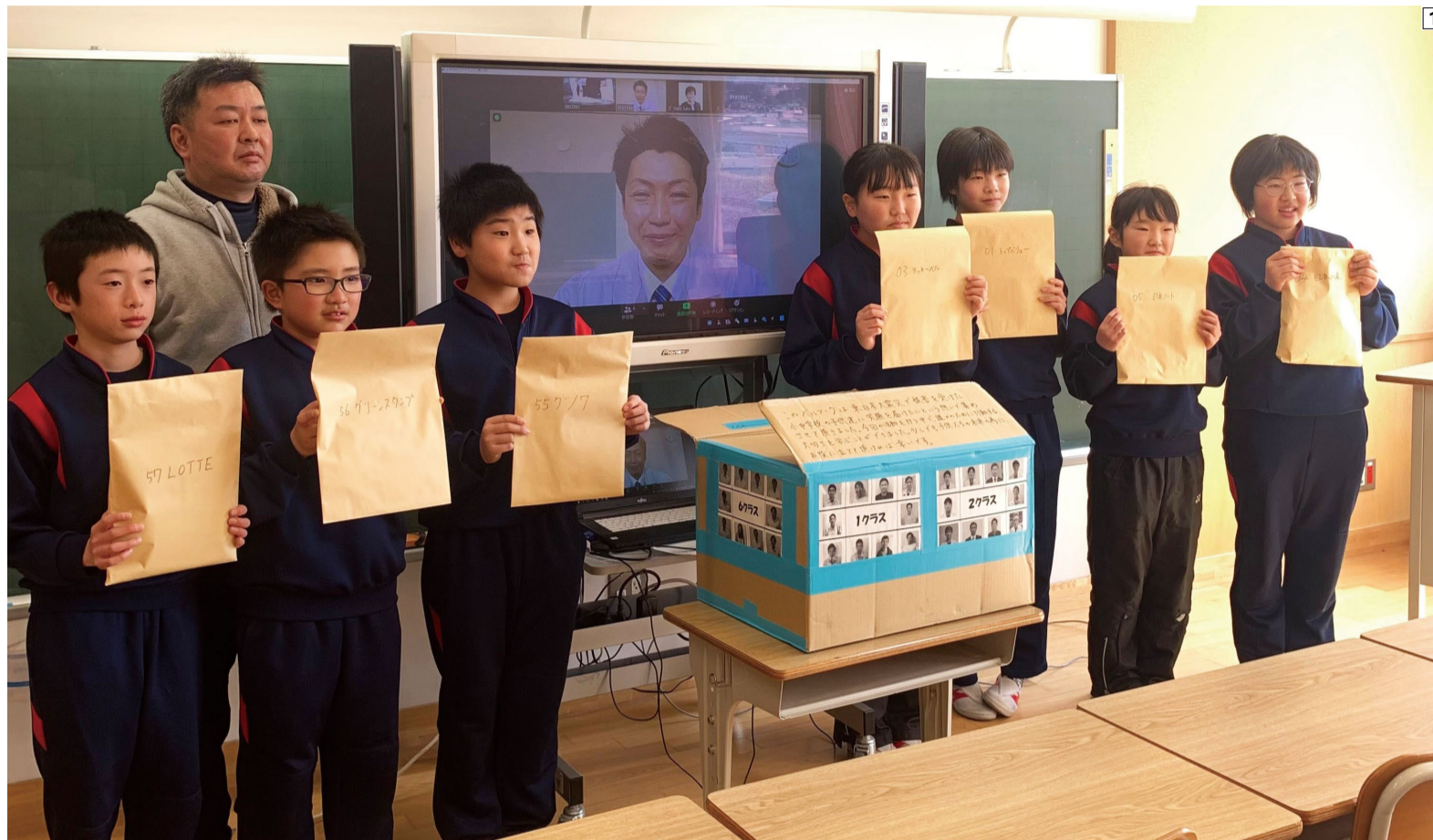


ベルマーク新聞 6月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

トヨタの若手社員が被災地に寄贈

 岩手・大船渡市の学校へ累計200万点以上

①2020年度は大船渡市立赤崎小に寄贈された
②仕分け・集計は受講生たちが行う
③寄贈をコーディネートした佐藤優子さん

トヨタ自動車(本社・愛知県豊田市)の若手社員がベルマークを集め、東日本大震災で被災した岩手県大船渡市の学校に毎年寄贈しています。2020年度も27万余点を寄贈。贈ったベルマークの累計は200万点を超えました。

同社の研修「技能専修コース」の受講生による活動です。設計や工場生産などの部門で将来のリーダーを育てるために毎年実施されています。

東日本大震災の後、トヨタ自動車はグループ会社をあげて、社員たちが被災地支援のボランティアなどに携わりました。その中で、この研修コースの受講生も募金活動を始めましたが、2014年度からベルマーク収集に切り替え、活動を続けています。

2020年度は20代半ばの社員60人が4月下旬から3カ月半、研修施設に集まって学びました。その過程で、受講生で作る委員会(10人)が中心になり、研修施設内にベルマークの回収箱を置き、ポスターを貼って収集を呼びかけました。さらに受講生各々が家族、友人、職場、実習先へと呼びかけて協力の輪を広げられました。

研修の事務局を担当するトヨタ技能者養成所のチーフエキスパート・長岡享史(たかひと)さんは「協力者を増やしながらか自分たちの思いを広げる、というベルマーク活動は、今後の仕事に生かすことができる」と話します。受講生からは「誰かのために役に立てると実感」「研修後も自分たちができることを続けていきたい」との声があったそうです。

集めたベルマークは受講生が仕分け・集計し、トヨタ自動車の社会貢献推進部を通じて、大船渡市内の学校に贈られます。2020年度の寄贈先は市立赤崎小学校(細川佳紀校長、児童119人)で、今年3月17日にオンラインで寄贈式が開かれました。

研修のアドバイザーを担当したトヨタ自動車の渡辺超(たかし)さんが「マークをぜひ有効に使って」と話し、赤崎小からは児童会の代表がお礼を伝えました。届けられたベルマークの箱には、側面に受講生全員の顔写真が貼られていたそうです。「子どもたちに笑顔届けたいという想いで集めました」とのメッセージも添えられていました。

赤崎小は震災時に津波で校舎が全壊。その後、他の学校と統合して高台の新校舎に移りました。震災から10年経ちますが、細川校長は「心のケアはまだ必要」としたうえで「支援はありがたいこと。遠くにある愛知との絆を感じます」と話します。

ベルマークの寄贈は、大船渡市に拠点を構える商社「カメラ社中」の代表取締役・佐藤優子さんがコーディネートしました。大船渡の出身で、震災当時の職場や自宅は津波を免れましたが、甚大な被害を受けた町を目の当たりにしたそうです。

社名の「カメラ」は大船渡市の花ツバキの別名、「社中」は坂本龍馬がつくった「亀山社中」が由来です。「ここ大船渡で、物や人同士をつなぐ商社に」との思いから、仲間と一緒に名付けたそうです。「津波は一瞬で大切なものを奪い去りましたが、新しいご縁を運んで来てくれました。その一つがベルマークです」と佐藤さんは語りました。

トヨタ自動車のみなさん、ありがとうございました!!

トヨタ自動車のみなさん、ありがとうございました!!



財団事務所を東京・両国に移転します

 現在の事務所は18日(金)で閉鎖

ベルマーク財団は、いま東京・築地にある事務所を両国に移転します。6月21日(月)から新事務所で業務を始めます。新しい住所と電話番号は次の通りです。

〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5
JEI両国ビル9階
TEL 03-5638-2320 fax 03-5638-2321

ホームページのURLやメールアドレスは変わりません。今の事務所は6月18日(金)で閉鎖します。それ以降に到着する荷物は新住所にお送り下さい。

ベルマーク財団は1960年に財団法人教育設備助成会として発足しましたが、そのときの事務所は東京・有楽町にあった朝日新聞の旧社屋内に設けられました。4年後に事務所は銀座に移転。そこで長らくベルマーク運動をすすめてきましたが、入居していたビルの建て替えに

伴い2013年、いまの築地に移転しました。今度の両国は、事務所としては4カ所目になります。

東京の下町・両国は、大相撲の興行がある国技館があり、相撲の町として知られています。財団の新事務所は、JR駅をはさんで国技館と反対側にありますが、職場の窓からは特徴のある国技館の大屋根がよく見えます。

歴史と伝統のあるこの地で、ベルマーク財団は再スタートします。

協賛会社の新しい動画、新製品、新企画、続々…

「バーチャル説明会2021」からご覧下さい

財団HPの「バーチャル説明会2021」でご紹介している協賛会社などのPRのうち、まだ新聞で未掲載だったものを以下にまとめました。

日本テトラパック (ベルマーク番号17) のベルマーク運動は、紙パックを回収センターに送ると、重量に応じて点数が付与される方式です。そのやり方を1分30秒にまとめた動画が、バーチャル説明会からご覧になれます。



同社は持続可能な社会実現に向け、積極的に社会貢献活動及び環境活動を展開しています。社会貢献と同時に、環境面での紙パックリサイクルを推進したいとの考えから、ベルマーク運動に参加していただいています。問い合わせは日本テトラパックのベルマーク運動受付センター (0545-30-6690、平日10:00～16:00)へ。

クレハ (同10) からは、おなじみのおかっぱ姉妹によるNEWクレラップの新しいCM動画が届きました。箱を持つ手をクルッと回すときれいにカットできるのは、V字型の刃に秘密があります。ベルマークも箱を開封する際の切り取り部分に付いています。そのため、切り取るのがとても簡単です。



同社の家庭用品サイト「クレライフ」には、様々なレシピや家事のアイデアが満載。こちらもぜひご覧ください。

クツワ (同55) は今春から、こどもの未来のための学習をサポートする文具の新ブランド「ミラガク」を誕生させました。「GIGAスクール対応商品」「リビング学習対応商品」「こどもの自立を促す商品」いう3つのテーマで多彩な商品を展開しています。バーチャル説明会のページ

から、その紹介動画を見に行くことができます。

タブレットやパソコンをランドセルに収納する「タプラススクール」、消しゴムと画面クリーナーがひとつになった「ぴかケシ」、文房具やA4ファイル、教科書などをまとめて収納する「超整理箱」、こどもが自らの予定を楽しみながら管理できる「こどものよてい帳」など、工夫を凝らした商品がラインナップされています。同社のHPでは、ほかにも商品に関する様々な動画がいっぱいあります。



セメダイン (同84) は今春、新製品「スーパー Xデュオ」を発売しました。約1分で実用強度に達し、電動工具を使わなくても気軽にDIYなどを楽しめるそうです。紹介動画をご覧ください。



同社のスーパー Xシリーズは、世界のプロ現場から家庭まで使用されている超多用途接着剤です。ベルマークは台紙についています。また、木工用シリーズの接着剤には、ボトル裏面にベルマークがついています。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 (同76) は、コロナ禍に配慮した「バーチャル工場見学」を企画しています。教室にしながら工場体験ができ、リサイクルの大切さを学びます。車の取扱説明書をアップサイクルした環境教育ノートももらえます。



詳細はNGPホームページの「工場見学」をご覧ください。裏面が申し込み用紙になっているチラシもダウンロードできます。問い合わせはNGP事務

局(電話03-5475-1208、ファクス03-5475-1209、Eメールngphonbu@ngp.gr.jp)へ。地域によっては感染対策に留意した実際の訪問見学も実施しています。ご希望の方は事務局にお問い合わせください。

ジブラルタ生命保険 (同15) は生命保険業界で初の協賛会社でもあり、個人向け新規1契約に一律100点のベルマークが付いています。業界初&業界唯一で日本PTA全国協議会の推薦商品でもありません。



4月に創立20周年を迎えた同社は「社員一人ひとりが地域コミュニティに貢献することにより、会社と地域がともに成長すること」を大切にしており、ベルマークをはじめさまざまな社会貢献活動を展開しています。

こうした理念に沿って、同社は「子ども」と「地域」をテーマにした社会貢献活動に全国で積極的に取り組んでいます。これらの活動をまとめた新しいパンフレット「Magic of the Dream」ができました。バーチャル説明会から飛んだ同社のページからダウンロードできます。

また、財団の教育応援隊のひとつ「防災科学教室」は2021年度、コロナ禍に配慮したオンライン開催も始めます。リアルな教室かオンラインか、ご希望に沿った形で実施します。



あらゆる種類の自然災害を研究している国立研究開発法人・防災科学技術研究所から、Dr.ナダレンジャーとして有名な雪崩研究者の納口恭明博士をはじめ、専門の講師が派遣され、災害からの身の守り方なども含めて、分かりやすくお話しします。費用は無料。オンライン開催は、講師と複数の家庭をつないだ自宅学習方式も可能です。問い合わせはベルマーク財団まで。なお、事務所移転で6月21日から財団の電話番号が変わります。ご注意ください(1面参照)。

セイコーエプソンが今年も14万点

自社カートリッジを回収して「寄贈マーク」に

協賛会社エプソン販売 (ベルマーク番号73) の親会社、セイコーエプソン (本社・長野県諏訪市) から、ベルマーク14万8700点が財団に寄贈されました。セイコーエプソンは2012年から全社をあげて使用済みの自社製カートリッジを集めています。今回は、昨年度に収集した分を、点数証明書はがきの形で届けてくれました。



同社は本社と全事業所、関連会社に回収箱を置き、社員や取引先、地域の人たちからカートリッジを集めています。総務部社会貢献担当の佐藤幸子さんによれば、コロナ禍のため、昨年度は来訪者の受け入れをストップしていた期間があったそうです。でも、年間でインクカートリッジ2万7000個、トナーカートリッジは100個以上が集まりました。「コロナの影響で、在宅で印刷する需要が増えたこともあり、プリンターやインクが多

く売れました。使用済みのカートリッジの回収率も上がるのでは」と佐藤さん。

セイコーエプソンは、コロナ禍を受けて、昨年から国内外で支援を続けています。変異ウイルスにより感染者数が急増したインドでは、エプソンインド(現地販売法人)がオーストラリアから酸素濃縮器を緊急輸入し、NPOを通じて病院に寄贈しました。

エプソンのカートリッジはすべて、障がい者雇用を促進している同社の特例子会社、エプソンミズベがまとめ、仕分けします。その結果を、関連会社のエプソロジーティクスが、点数証明書はがきとして参加団体に返しています。



ナックが13年連続のマーク寄贈

インク・トナーカートリッジ含め段ボール4箱

株式会社ナック(本社・東京都新宿区)から、社内で集めたベルマークとインク・トナーカートリッジが届きました。同社IR・広報室の松田萌絵さんと鈴木麻由さんが6月4日、ベルマーク財団を訪れて寄贈してくれました。同社からの寄贈はこれで13年連続。段ボール4箱のうち1箱は切り取ったベルマーク、3箱にはカートリッジがぎっしり詰まっています。

「暮らしのお役立ち企業」を掲げ、生活に密着した事業を展開している同社は、以前から社会貢献にも力を入れてきました。ところが昨年からの続くコロナ禍によって、地域清掃といった今までの活動がやりにくくなりました。そんな中、同社は社内外への情報発信に努め、創業50周年を迎えたこの春には、初めて「CSRレポート」を発行しました。

企業理念や、SDGsも含めたCSR推進体制、様々な事業展開を通じての問題解決への寄与など、同社の活動が網羅されたレポートです。松田さんと鈴木さんとは

もに同社CSR委員会メンバーで、レポート本文の執筆にあたりました。「社内の色々なところが何をしているか、よく分かりました」と鈴木さん。レポートにはベルマーク寄贈も活動事例として挙げられています。

「今までベルマークは親会社のナックだけで集めていましたが、これからはグループ会社も一緒になって集めていきます」と松田さん。ありがとうございます、今後もよろしくおねがいします。



左から、ナックIR・広報室の鈴木麻由さん、松田萌絵さん、ベルマーク財団の小野高道常務理事

ジャックスが中野特別支援学校に20万点

コロナ禍で中止の贈呈式に代わって写真が届く



①みんなで協力しながら演奏しているそう
②車いすは体調不良時や災害時などのために活用される
③好きな音楽を聴くことが出来るCDラジカセ

大手信販会社のジャックス(本部・東京都渋谷区)が、全社をあげて集めたベルマーク約20万点を東京都立中野特別支援学校(和田慎也校長、児童・生徒315人)に寄贈しました。そのマークを使って、同校は車いす、車いす用シートベルト、トーンチャイム、CDラジオ6台を購入。このほど備品を使っている姿を写した写真が届きました。

実は、2020年3月に寄贈式を実施する予定でしたが、折からのコロナ禍で延

期され、その後も情勢がよくなることから中止になりました。写真はその代わりとして送られてきたものです。

同校の田中俊光副校長によると「購入品は子どもたちに大好評」とのことでした。「子どもたちが楽しめるものをいただき、本当にありがとうございます。こつこつとマークを集めて下さった皆さまに心から感謝申し上げます」

ジャックスは社会貢献活動の基本方針を2015年に定め、社内に社会貢献推進

事務局を設置しました。現在、専任の担当者2名が所属しています。ベルマーク運動ではこれまでに創業の地・函館の学校や、熊本地震・西日本豪雨の被災校にマークを寄贈してきました。

同社の支店や関連会社はそれぞれインク・トナーカートリッジ収集の企業登録をしており、点数アップに熱心に取り組んでいます。今回の寄贈点数のうちカートリッジ分は13万5545点と大きな割合を占めました。

事務局の上野真那さんによると、カートリッジの点数証明書は直接事務局に届く仕組みにしているそうです。一方、切り取ったマークもすべて事務局で集約し、障がいのある方が活躍している部署「恵比寿ハートフルチーム」で仕分け・集計しているとのことでした。

上野さんは「ベルマーク収集は社内に根付いている活動。今後も積極的に進め、継続して取り組んでいきたいです」と話してくれました。

東北へのバス代支援、様々に

岩手県中学校長会から利用報告書

2020年度にベルマーク財団が実施した東日本大震災支援について、岩手県中学校長会から、生徒が校外学習などで利用したバス代の報告書が届きました。

宮古市立第一中学校は、2年生が震災学習で陸前高田市の「東日本大震災津波伝承館」と、釜石市の「いのちをつなぐ未来館」を訪れました。「語り部の話を聞き、避難の様子や感じた恐怖、不安などを知り、備えることの大切さや後世に伝えていく必要性を感じ取ることができました」とのことです。



大船渡市立赤崎中学校は、2、3年生が東日本大震災津波伝承館に行きました。3年生は館内で避難所の運営



をシミュレーションする学習にも取り組んだそうです。そのほか、2年生が市内の魚市場などで地域の復興を学ぶ際にもバス代を使いま

した。赤崎中は今年度、市立綾里中と統合、市立東朋中として新たなスタートを切りました。

野田村立野田中学校は昨年11月、修学旅行先の活動の一つとして、北海道七飯町での「復興和太鼓」演奏交流会に3年生が参加しました。地元で活動する創作和太鼓の会が演奏会を主催。野田中は3曲を披露し、和楽器を用いた朗読劇のプレゼントや、交流演奏もあったそうです。



陸前高田市立高田東中学校は、1年生が地域を知るための調査活動にバス代を役立てました。生徒たちは班に分かれ、市役所や市内の団体などの行き先を決めて訪問しました。伊東孝志校長は「子どもたちが現地に行くための交通手段はなかなか採りにくく、支援は非常にありがたいです」と話しました。



デジタル機器を活用

三重・大紀中から感謝メッセージ

2020年度に財団が支援したへき地学校のひとつ、三重県大紀(たいき)町の町立大紀中学校(東浦良幸校長、生徒72人)から感謝メッセージが届きました。

今回、支援で購入したのは、DVD/ブルーレイディスクプレーヤー3台、デジタルカメラ2台、ワイヤレス式の電子黒板など。プレーヤーは、もともとある機器が古かったとのことで、「授業で活用できて助かっていま



す」と牧久雄教頭。また、デジタルカメラは授業や行事の様子を記録しています。撮影した写真は卒業アルバムの製作に役立てました。

大紀町は県の中南部に位置します。熊野灘に面した錦湾がありますが、町の大半は山。大紀中も山あいにあります。でも学区には沿岸地域も含まれ、生徒の3分の2はスクールバスで通学しています。

大台達成校

5月	中野学園オイスカ高	
	浜松市西区	15,076,361
米山寮	愛知県岡崎市	13,011,614
安東小	静岡市葵区	8,017,384
緑岡小	水戸市	7,018,286
南小	埼玉県狭山市	7,057,993
清水有度第二小	静岡市清水区	6,040,106
仙北小	盛岡市	5,032,573
八千代台東小	千葉県八千代市	5,021,090
大和田西小	千葉県八千代市	4,040,442
中島小	岡山県倉敷市	4,057,761

大内小	山口市	4,006,985
豊浜小	香川県観音寺市	4,027,516
三郷小	長野県安曇野市	3,014,281
神田小	愛知県大府市	3,005,464
平岡南小	兵庫県加古川市	3,015,821
荒川小	青森市	2,008,453
多賀台小	青森県八戸市	2,017,209
長沼小	福島県須賀川市	2,016,309
川口アソカ幼稚園	埼玉県川口市	2,004,265
柏崎小	さいたま市岩槻区	2,001,105
牧園小	千葉県市原市	2,018,132
国本学園国本幼稚園		
	東京都世田谷区	2,010,142
横浜山中中華学校	横浜市中区	2,019,465

扇台小	金沢市	2,012,644
麻機小	静岡市葵区	2,014,098
おおのこどもの庭	愛知県一宮市	2,015,839
野依小	愛知県豊橋市	2,010,548
五ヶ丘東小	愛知県豊田市	2,012,224
東角小	京都府久御山町	2,005,949
大和田小	大阪市西淀川区	2,006,558
南陽小	長崎市	2,003,815
啓明小	北海道旭川市	1,006,030
桜木小	千葉県若葉区	1,028,719
元八王子東小	東京都八王子市	1,001,895
本町田小	東京都町田市	1,000,558
下津井西小	岡山県倉敷市	1,047,395
原中央幼稚園	山口県宇部市	1,077,232

財団の常務理事が交代

ベルマーク財団の理事会が5月10日、評議員会が6月3日に、いずれもオンラインで開かれました。理事は一部顔ぶれが変わり、常務理事には小野高道・朝日新聞CSR担当補佐が就任。高木文哉前常務理事は退任しました。そのほか2020年度決算、財団事務所移転とそれに伴う定款変更などの議案が承認されました。

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『へんてこたいそう』(新井洋行・作、小峰書店)

今回はユニークな絵本が多くて、選ぶのが大変でした。まずは、この「へんてこたいそう」。表紙の絵は女子男子トイレのマークですね。このマークが体操を始めます。足を開いて、踏ん張って！今度は、緑の非常口のマーク。駆け足で出口から外に出ようとしています。このマークがおしりをプリプリッと振るとどうなるか。というふうに、次々にいろんなマークがへんてこな体操を見せてくれます。この絵本を見た後に人型のマークを見たら、きっとそのマークは動き出すでしょう。(低学年から、1200円+税)



『クマとオオカミ』(ダニエル・サルミエリ作、やまぐちふみお訳、評論社)

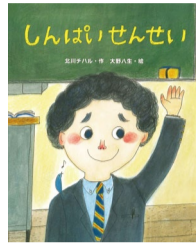
冬を迎えた森の中、クマが歩いていくと、向こうからやってきたのはオオカミ。オオカミが歩いていくと、向こうからやってきたのはクマ。クマとオオカミは、連れ立って雪の森の中を探検に出かけます。なにか事件が起こるわけではないのですが、若いクマとオオカミの息遣いが聞こえてくるような、静かでいて、あたたかさを感じさせる画面です。文もシンプルですが、例えば教室で、これを何人かで朗読したら、この絵本の味わいが更に浮かび上がってくるのではないのでしょうか。(低・中学年から、税込1815円)



低・中学年向け

『しんぱいせんせい』(北川チハル・作、大野八生・絵、佼成出版社)

ここでは教室が舞台の作品を二冊紹介しますが、実はかつてに比べて、先生と子どもたちをめぐる物語というのは少なくなっています。まずは「しんぱいせんせい」ですが、本当の名前は「しんぱいせんせい」で、子どもたちと同じ先生一年目の先生は、なにかというと「だいじょうぶかなあ」と心配します。この台詞を先生に言われると落ち着かないのがたつや。自分も学校の中でいろいろ心配なことがあるからです。この作品を読んで、僕は自分が教員一年生の時のことを思い出しました。僕も一年の担任でした。〈心配〉をキーワードに、自分や相手を受け容れていく先生と子どもたちが描かれます。(低学年向き、1200円+税)



『サイコーの通知表』(工藤純子・著、講談社)

通知表がテーマの作品といえば、宮川ひろさんの『先生をつうしんぼ』を思い出します。こちらは1970年代の作品ですから、それから通知表は様変わりした部分もありますが、子どもたちを、そしてつける側の先生を悩ますものであることに変わりはありません。4年生の朝陽は、1年生のときからの教科も「できる」ばかりで「よくできる」も「もうすこし」もありません。友だちの大河は「もうすこし」が結構あり、吐希ちゃんは「よくできる」がずらり。この



3人が通知表についてあれこれ話しているうちに、担任の若いハシケン先生の通知表を作ろう、という話になるのですが、そのプロセスはかなりていねいに描かれます。そして、『先生のつうしんぼ』と違うところは、3人がクラス全体をまきこんで本当に先生の通知表を作り、先生に渡すところ。こうしたテーマに真っ向から切り込んだ作品を、久しぶりに読んだ気がしました。(中学年以上向き、1400円+税)

高学年・中学生向け

『迷子の星たちのメリーゴーラウンド』(日向理恵子・作、六七質・絵、小学館)

とても不思議な作品で、うまく紹介する自信がありませんが、ジャンルとしては近未来SFということになるでしょうか。十数年前から閉園になっている遊園地をめぐるオムニバス風な構成になっている、この半ば廃墟になった遊園地の地下には一人の女の子が住んでいます。彼女は15歳なのですが、3歳で体の成長は止まったままで、遊園地から外には出られない体質になっています。面倒を見ているのはかつての遊園地のスタッフですが、いよいよここが取り壊されることとなります。一方で、この町では停電が相次ぐなど奇妙な現象が続発し、学校も休校になっています。そして、遊園地では特別な子どもたちを対象にしたある取り組みが始まっていて、やってきたのは小1から中3までの5人。彼らの抱えている「問題」が、遊園地側から渡された日記に綴られていきます。彼らの抱えている問題と、遊園地に住む少女の状況が果たして



関連があるのかどうか。物語は謎を残したまま閉じられますが、僕にはコロナ禍という不条理の中で生きる子どもたちへのオマージュであるようにも読めました。(高学年以上向き、1400円+税)

『はなの街オペラ』(森川成美・作、坂本ヒメミ・絵、くもん出版)

時代は大正半ば。宇都宮の小学校を卒業した神谷はなは、東京のお屋敷に奉公に出されます。奉公先の井野家の主人は作曲家で、浅草六区で和風のオペラを演じる一座を率っていました。この家には、音楽学校生の笛木響之介が書生として住んでいて、響之介の父親は今は帰国したドイツ人の音楽家でした。はなは雑用全般で忙しい日々を送りますが、この家のお嬢さんの歌のレッスンについていくことがあり、一発でその歌を覚えてしまいます。はなの音感の良さを見抜いた響之介は、歌のレッスンに毎回ついていけるよう、計らいます。そんなはなの運命を大きく変えたのも響之介で、彼が出演していた浅草の舞台をたまたま見に行ったはなを、急きょプリマドンナの代役に仕立てます。大河ドラマの前半部分にはなるような波乱万丈の展開で、最後は関東大震災に遭ったはなたちのその後を予感させて、閉じられます。



この時代の浅草オペラをめぐる音楽家たちの考え方の違いや、庶民の受容の様子などが実にきちんと描かれていて、児童文学の時代小説として紛れもない一級品が生まれた、と感じさせられました。(高学年・中学生から大人まで、税込1650円)

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈寄贈マーク〉 4月21日～5月20日

北海道 渡辺博晴 北海道小樽潮陵高すけっと同好会 中島智香子 村山量平(一社) 日本血液製剤機構千歳工場 互信自工(株) 中原秋美(株) アルファ技研 岩手県 鎌田 宮城県(株) ディオ・ホリ 高橋文子 米山三枝 秋田県 鈴木薫 山形県 大沼好江 福島県 匿名希望 茨城県 小野智子 長尾理恵 沼尻かつ子 栃木県 石川和良 牧野勇一郎 大和リース(株) 栃木二宮デポ 関東工場 鶴田由美子 新里順子 相良奈緒 群馬県 星野妙子 金子和枝 高橋伸明(株) ボディーショップK 高林桃子 横澤千登勢 埼玉県 松永美恵子(株) トップコミュニケーションプロダクト朝霞工場 神口公子 鈴木明代 染谷千津子 高橋芽生 長谷川宜久 藪陽一 山下真奈 浅野貴子 金子涼香 匿名希望 千葉県 河野優子 杉田恵美 柳澤奈津子 渡辺孝子 伊藤加寿子 関田元子 藤枝瑞 藤原星 水野夏帆 吉田恵子 泉喜美江 岩本佳久 豊嶋美佳 橋爪邦治 ちどり保育園 匿名希望 東京都 前田清美(株) 光洋 小野寺美恵 佐々木美幸 鈴木治子 太刀川忠良 谷川雄介 豊田昌子 パイオニア(株) 堀川貴人 松隈ゆかり 青木美穂 共栄タンカー(株) 津村郁仁・李明欣・中山葉太・志村礼恩 山田こずえ 伊藤せい子 大井三恵子(株) 萩原製作所 神野智洋 小島久美子 柴崎谷澤恵美子 中尾きみ子 新谷美穂 日本基督教団小金井緑町教会 野口晴代 長谷川美津子 福嶋操子 プラザー工業(株) 東京支社法務・環境・総務部有志一同 三浦芳江 溝口美知代 安田

玲子 山崎礼子 山田宜子 吉田友信 鈴木登志子 大日本明治製糖(株) 田代真也 棚田由紀子 西村全代 日本テトラパック(株) 原田江里 正内美雪 岡田えみ子 上登野紀子 黒洋一雅 杉本恵子 福井翼 アリス&カンパニー 市野容子 工房丹 市川佳世子 匿名希望 神奈川県 松平節子 池田智子 石黒琢一郎 アイスター商事代理店前川敏子 JA 共済連 呉地節子 坂井直子 大和パートナーズ(株) 高英里子 根岸アメリカンクラブ 安井ふみ子 浅井友希 神奈川県農協青壮年部協議会 函研エルミック(株) 領家中 PTA 小池基希(株) プリンテック 富山県(株) 池田模範堂 銀の車輪 石川県 伊藤梨奈 三野智子 福井県 アイスター商事代理店廣瀬朋枝 山梨県 青柳容子 山崎直美 吉田博 小林典子 長野県 セイコーエプソン(株) 宮下ふさ子 大井 高砂紀世 福沢美恵子 匿名希望 岐阜県 祖父江信子 鈴木圭子 岐阜県 JA ビジネスサポート(株) 堀江 静岡県 島中将也 松浦裕子 三輪和世 柴まり子 曾我小学校区学童保育所「そがっくクラブ」 愛知県 JP 名古屋貯金支部 五十嵐佳奈 大木結子 岡本幸弘 榊原 榊原朋子 杉浦絹子 鶴田恵巳 久田和孝 堀部悦子 松尾百合子 三浦舞子 吉田ひとみ 家田三奈 江本織絵(株) ウラヤマ 後藤寛人 松本工業(株) 山森博子 藤田文香 伊藤祐幸 匿名希望 三重県 松山さよ子 川口美早紀 松永剛 森永恵子 京都府 上山香子 中村美友 森久子 津田詠子 堀智子 大阪府 平野綾 リコージャパン(株) 業務センター江坂事業所(株)

オリエンコーポレーション大阪管理センター(株) ドコモ CS 大阪端末センター 同 小川麻子 加賀屋東小 松尾由香子 道畑光 百島基安 永文 浅井美 中川真友 濱田裕子 早瀬朱莉 真砂智子 里中恵子 植村 匿名希望 兵庫県 平岡貴子 平山成美 M 淡路景子 岡本圭子 藤原由梨 吉田崇規 ガールスカウト兵庫県第21団一同 片自治会 村松知子 匿名希望 奈良県 宮崎新嗣 小西三千子 齊藤春江 匿名希望 和歌山県 川口聡子 鳥取県 草野雅昭 永原千恵 匿名希望 岡山県(株) 野上製作所 アイスター商事代理店河原美恵子 藤本朱夏 奥野椿彩 大塚泰弘 橘忠 広島県 朝居一穂 佐藤玲 三陽石油(株) 山口県 岡本絢 木船一宝 成田奈苗 福島ゆかり 匿名希望 徳島県 Wings 香川県 大石敬子 久保治美 愛媛県 石原淑子 匿名希望 福岡県 戎工業(株) 小峰あきら 大里柳小 真野 NPO 法人大学府アートのたね 下川啓子・渡辺昌也 樋口弘之 弓取教子 木原健一郎 西南学院小宗教委員会 中島里穂子 匿名希望 佐賀県 岡田典子 長崎県 久保山繁樹 匿名希望 熊本県 牧山健二 大分県 石堂泰史 イノウエヨシオ 上坂美智代 嶋崎光平 鹿児島県 薩摩川内市社協協賛所 沖縄県 与儀愛子 幸 KR 無記名=91件

〈友愛援助申し込み〉 5月1日～5月31日
岩手県 二子小(北上市) 栃木県 陽東中(宇都宮市) 東京都 松丘小(世田谷区) 神奈川県 セント・メリー幼稚園(横浜市保

◎児童文学者協会が本のプレゼント

「読んでみたい本」の藤田のぼるさんが理事長を務める日本児童文学者協会



が創立75周年を記念して、小・中学校を対象に本をプレゼントします。

協会が出版社と連携して編纂した「タイムストーリー」(全10巻)、「児童文学10の冒険」(同)などのシリーズ本です。応募は往復はがきを用い、締切は6月30日(水)必着。抽選で小学校22校と中学校12校に本が贈られ、抽選に漏れた応募校にも協会会員の作家のサイン本が少なくとも1冊贈られます。詳細は同協会HPの「イベント」の欄をご参照ください。問い合わせは同協会(03-3268-0691、zb@jibunkyo.or.jp)へ。

土ヶ谷区) ◆新潟県 巻西中(新潟市西蒲区) ◆静岡県 オイスカ高(浜松市西区) ◆愛知県 名古屋市西部地域療育センター(名古屋市中区) ◆滋賀県 長浜小(長浜市) ◆山口県 西宇部小(宇部市) ◆福岡県 学童クラブすだち(北九州市門司区)